

貳仟玖年拾貳月
青点ノ本

ヒタギニトル

成人向ケ
ADULT ONLY



期末テストも終わり
もうすぐ冬休みに
入るそんな年末の
ある日の夜

俺はいつものように
戦場ヶ原の家で
勉強をしている。

うん

阿良々木くん

今回の期末テストの結果は
どうだったかしら？

まあ、悪くはなかったよ。
前のテストよりは成績が
上がっていたね。



私がつきつきり
で教えているのだから
成績が上がるのは
当然ですが、進路は
どうするのかしら？



一応大学に進学を
考えてる。まあ、

無理かもしれないけど、
とりあえず戦場ヶ原と
同じ大学を受けて
みようと思う。



全力で頑張ります
僕にはこの大学以外に
考えられないです

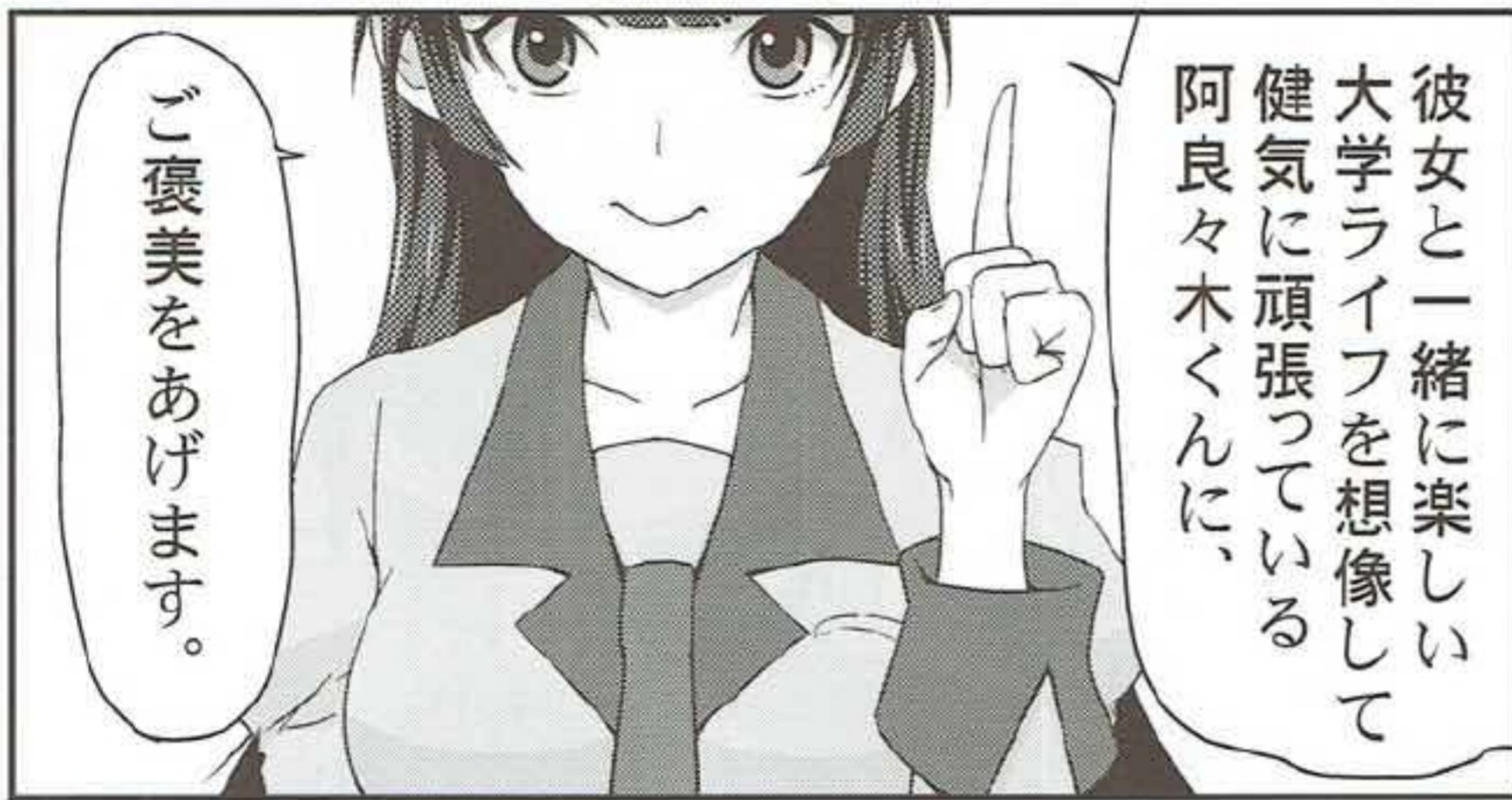
それほど行きたいわけでも
ないけれど、私と同じ大学を
受けてみるわけね……

とりあえず……？



うれしいこと
言ってくれるじゃない

あらそう……



ご褒美をあげます。

彼女と一緒に楽しい
大学ライフを想像して
健気に頑張っている
阿良々木くんには、



阿良々木くん



ただ、七面鳥を
買うお金がないので
それは遠慮して欲しいわ

もうすぐクリスマスなので、
裸エプロン姿で七面鳥を料理する
というのはどうかしら？



なんだか怖い……
すごく怖いです



阿良々木くんは
どんなご褒美が
欲しいかしら？

それとも
自宅でいつでも
私の裸を
拝めるように

……

ビデオカメラで
撮影したDVDをプレゼントして
毎日鑑賞してもらおうかしら

さすがにそれは裏DVD
として売られてしまうと
困るからやめておきましょう。

売るわけないだろ！
断じて売りません！

地球が美しいのは、
こうして宇宙から
見ることが
できるからだ。
地上にいる者たちは、
真の美しさは
理解できない……

はい？

つまり私の美しさも
他人が見ること
真の美しさが
理解できるとい
うことかしら。

突然、仮面を被った
貴族のセリフを
引用してきて、
なんとなく
合っているような
解説をしているが、
全然違っているし！



しかもいきなり話の
スケールが宇宙まで飛び
越えちゃっているけど
俺たちは実際に宇宙すら
行ったことがないし、
大好きなアニメだから
とって簡単にセリフを
パクってくるのは
どうかと思うんですが！



理解できた
かしら？



それでは

これで



なっ!?

うほお

おっばい



理解は
全然できませんが……

じりり……

僕が間違っ
ていました……



……

パンツにシミが

ついているんですが



オナニーをしていてその行為の途中で阿良々木くんが思ったより早く来てしまっ

慌ててパンツを穿いたらシミがついてしまったことに気づいたようね。

もちろん済ませたわ



阿良々木くんが家に来る前に



そんな事に気づくなんてどれだけ俺は性に敏感なんだ！部屋中にイヤラシイ匂いが充満してて、その匂いを俺が嗅ぎつけたとでもいうのか！

たとえ気がついたとしても俺は顔にうれしいという表情を出した覚えもないが興奮してきたっ！

阿良々木くんの想像力では
私の体なんて記号の
組み合わせのような体と
へのへのもへじのような顔
になっていて



擬音によるあえぎ声
だけが妙にリアルに描かれてる
ような陳腐なものだと容易に
想像できるわね。

余計なお世話だ

実際の
私のオナニーは

ググ

もちろん毎日おかずに
されている阿良々木くんが
私の体中を舐めまわしながら、
恥かしい言葉で私の耳を
愛撫されながら私の美しい体が
あられもないポーズで
阿良々木くんの手が ~~私~~を揉み
~~私~~の中に阿良々木くんの
~~私~~が入れられしまい、
ついには……

イツちやいます





リードしていた
はずの私が……



わかった

頑張ろうな



いつのまにか……

スリッ

ゆっくり触って
みるよ……

ううん……

リードをなつらる





いいよ……
気にしないで

忘れてた……

阿良々木くんの
優しいところが
好きだったんだ。



いつかできるわ
でも今は……



これだけだね

いつだって助けに
駆けつけてくれる
王子様みたいところ

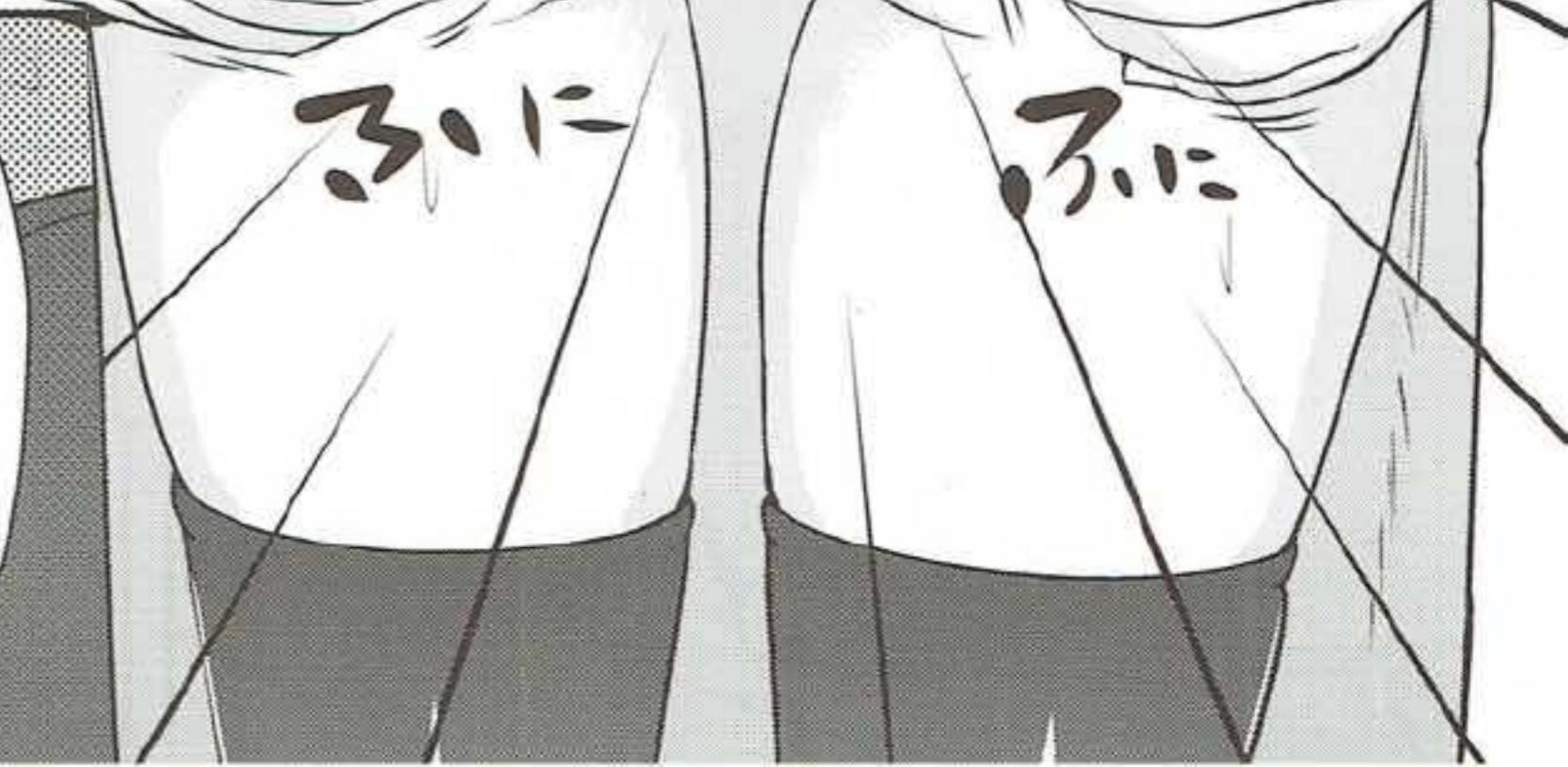
私が困っている
ときには……

そして……



優しいところ

可愛いところ



なんともない
ひよつとして...

あれ？

いつの間にか手が
こんなところを.....!

キスの...

おかげかな？

そうかも...

んっ

はは
はあ

あ

ふい
ふい
ふい

ふい
ふい

ふい

ふい

ふい
ふい



では……

自由だ

ぶらぶら

俺のタン
キタロー

いただきます



はっ

あんっ

あ

ん

ん

ん



ひんっ

ちゃっぴー

ん

ん

ん

ん



あつ...なんか...
変になって...

あ...

あ...



俺のも...
お願い... 頼む!

は...!!

頭の中が...
白く... イクシー!

は...!!



うはあ

なんかヌルつとしてて、
すごいイヤラシイ...



唾えると
うれしいのかな...



ハード



ぶはっ

これが私の中に



もうダメッ

出ッ



はい

ぽろぽろ...

入ってくる...

ズンズンズン

挿入れます

ぽろぽろ



ぽろぽろ...

ぬん

か、硬い...

暖かいのが当たってる



びびび...

んっ



奥まで

...ふんふん

おろろ...

にゅん

にゅん



私もがんばります

もつと
もつと
ひたぎさんの
中に入るよお〜!!

もつと

阿良々木くんに
好かれるように
……

はい!





奥まで入っ……あつ
入つてゐる……!!

気持ちいいー!

あー

ぬぬ

あつ

ズン
ズン



あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

気持ちいいよう

気持ちいい

あつ

あつ

あつ

あつ

